

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                             |            |  |
|---------|-----------------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 0270101280                  |            |  |
| 法人名     | 社会福祉法人平元会                   |            |  |
| 事業所名    | グループホームなごみ                  |            |  |
| 所在地     | 〒030-0852 青森県青森市大字大野字片岡34-3 |            |  |
| 自己評価作成日 | 令和3年9月1日                    | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |  |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 |  |
|----------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                       |  |  |
|-------|---------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 公益社団法人青森県老人福祉協会                       |  |  |
| 所在地   | 〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階 |  |  |
| 訪問調査日 | 令和3年10月18日                            |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個室・開放的な空間の工夫にてのんびりゆっくりとくつろぎながら過ごすことが出来ます。自分の居場所を確保することで精神安定に繋がったり、安心して過ごしていただけるよう声掛け行い支援しています。共用型認知症対応型通所介護の利用者との交流を図ることで意欲向上へつなげています。認知症専門医との連携を図り、認知症進行予防や個別ケアへの取り組みを導き出しその人らしい生活が維持できるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

市内の中心部に近く、すぐ前は交通量の多い道路で利便性は高く、クリニックの2階にあり、隣に薬局もある。他に協力病院が2ヶ所あり、医療的に安心できる環境にある。特に協力病院の中には認知症専門医がいるため、適切な治療やケアについてのアドバイスがあり、利用者が穏やかに過ごされている印象が強い。理念を基に、一人ひとりのその人らしさを尊重するケアを実施されている、温かみのあるグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |                                                    | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |                                                                 | 項目 |                                                                       | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|----|----------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)     | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)            | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                       | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                        | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                         | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                     | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |                                                                       |                       |                                                                   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目                                                                                                                          | 自己評価                                                | 外部評価                                                                                                            |                   |
|--------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                    |     |                                                                                                                             | 実践状況                                                | 実践状況                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |                                                                                                                             |                                                     |                                                                                                                 |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                          | 理念を掲示し目に触れるようにしている。職員会議などで共有を図っている                  | 毎月の職員会議で周知している。理念である「あふれる笑顔の中で、これまでのあなたとこれからのあなたを大切に」を日々の実践と振り返りを行い、次の理念への展開を意識した共有がなされている。                     |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                          | 今年度は新型コロナウイルスの影響で直接的交流が出来なかった。広報誌を回覧板などで情報発信している    | 以前は積極的に地域との交流を意識し外出していたが、現在は新型コロナウイルスの影響で実施できず、2ヶ月毎に町会長へグループホームの活動内容を発信している。                                    |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                        | 見学や相談がある場合、説明する等、取り組みしている                           |                                                                                                                 |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 今年度は新型コロナウイルス感染予防対策に取り組むことにより2ヶ月に1回開催し、書面で報告している    | 現在は新型コロナウイルスの影響により、書面で実施している。11月から利用者家族、デイサービスセンター利用者家族、町会長、地域包括支援センター職員、市役所担当者、薬剤師、近所の方を参集し再開予定である。            |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                                                | 電話やFAX等で情報共有を図っている。ケア会議・研修はzoom使用し参加。ケア向上に努めている     | 担当の地域包括支援センターとは毎月オンラインでの会議を行い、連携を図っている。市役所には電話や直接出向いて状況報告や相談ができる体制が構築されている。                                     |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束防止はマニュアル作成。外部研修への参加や年2回内部研修を行い、拘束などが無いケアを目指している | 日常のケアにおいての職員の共通認識は身体拘束をしないことを徹底している。また3ヶ月毎にグループホーム内の委員会を開催し、日々のケアを振り返っている。身体拘束につながるリスクを事前に把握し、対策を考える取り組みを行っている。 |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                      | 内部研修では虐待に関する研修を行い不適切ケアにつながっていないか振り返り、防止に努めている       |                                                                                                                 |                   |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                           | 外部評価                                                                                                       |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                           | 実践状況                                                                                                       | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 外部研修に参加し制度を学んでいる。制度を理解し必要な方が活用できるように支援していく                                     |                                                                                                            |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時や介護保険改定時、重要事項説明書にてわかりやすく説明するようにしている                                         |                                                                                                            |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | ご家族には面会時や電話かかってきたときに意見や要望、相談事は聞くようにしている。日常のコミュニケーションの中で入居者様の意見を聞く時間を設けケアに繋げている | 玄関に意見箱が設置されているが、現在は新型コロナウイルスの影響により面会制限しているため投函はない。面会時や定期的に電話で要望を伺っている。要望の情報共有をし、家族の意向に沿った内容で利用者のケアを実践している。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 職場環境については会議や個人面談を行いリーダーから管理者に管理者から代表に伝達する体制づくりしている                             | 毎月の職員会議やカンファレンス時に様々な意見交換を行っている。直近では人員配置についての要望があり、管理者から法人へ伝達し、意見が反映された実績がある。                               |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 管理者は職員一人ひとりの状況を把握し評価を定期的に報告している。定期健診実施している。                                    |                                                                                                            |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 外部研修への参加にて日々のケアの向上に努めている。定期的に職員と面談し助言等の時間を設けている                                |                                                                                                            |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 包括支援センター主催のネットワーク会議にzoomで参加し交流の機会を設けている                                        |                                                                                                            |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目                                                                                      | 自己評価                                                                | 外部評価                                                                                                 |                   |
|----------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                            |     |                                                                                         | 実践状況                                                                | 実践状況                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |                                                                                         |                                                                     |                                                                                                      |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 新規入所時、本人が困っていることや不安・要望を聞く機会を持っている。日常生活の中から本人の何気ない言葉をケアに活かすように努めている  |                                                                                                      |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 家族へは面会時、電話連絡時、手紙などを通して連携が図れるように努めている                                |                                                                                                      |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 本人・家族の希望やニーズを聞き出し必要な支援に努めている                                        |                                                                                                      |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | 出来る限り利用者様に寄り添い尊厳を持って接することを意識している。身近な存在となれるよう関係性を築くように努めている          |                                                                                                      |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | 季節の行事や生活状況を毎月の手紙や広報誌等で家族へお知らせしている。キーパーソン以外の御家族にみ手紙を送りやり取りし関係性を繋げている |                                                                                                      |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | ご家族の面会はあるものの知人や友人等の面会は新型コロナウイルス対策にて制限している                           | 新型コロナウイルスの影響により面会は制限しているが、玄関で距離を保ち10分程度で実施することで関係の継続が出来るよう支援している。また、家族の協力を得て通院を行う等、関わりがもてるよう取り組んでいる。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                    | 入居者様のペースに合わせゆっくりとした時間を過ごせる様に意識している。入居者様との関りを大切にしている                 |                                                                                                      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                              | 外部評価                                                                |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                              | 実践状況                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退所後も必要な支援があれば繋げられるよう取り組んでいる                                       |                                                                     |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                   |                                                                     |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 本人・ご家族が不安や心配がないように希望やニーズを出来るだけ聞き取りケアプランにつなげ支援するようにしている            | 家族からの情報を基に、身体機能や精神面、個々の思いに関する事等を普段の生活の中から分析を行い、プランに反映させ支援している。      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | アセスメントやその方の生活歴を聞き取り、今までと近い生活が継続できるよう支援している                        |                                                                     |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | その方らしい日常生活が過ごせる様、情報収集し把握に努めている                                    |                                                                     |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 3ヶ月毎ごとにモニタリング・カンファレンス実施し本人の意向・家族との面会時、意向を確認した情報を職員で共有し介護計画を作成している | 3ヶ月毎にモニタリング・カンファレンスを実施し、把握している思いや意向と、職員から出された意見のすり合わせを行いプランを作成している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子や気づきを記録へ残し職員で話し合い供給できるようにしている                                |                                                                     |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 要望やニーズが対応できるように努めている。対応困難な場合、家族にも協力していただくよう声掛けしている                |                                                                     |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                   | 自己評価                                                     | 外部評価                                                                                                                              |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                      | 実践状況                                                     | 実践状況                                                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                       | 施設支援のみが多い。必要に応じ地域包括支援センターのネットワーク会議に参加し地域資源について学び情報共有している |                                                                                                                                   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                   | 2週間に1回往診あり。主治医への報告、相談しその旨家族へ報告している                       | 入居時に協力病院を紹介している。協力病院で対応していない専門科については、家族の協力を得ながら継続受診できるよう支援している。                                                                   |                   |
| 31 |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                        | 協力医療機関の看護職員とは通院等で相談、報告し支援受けれる体制が取れている                    |                                                                                                                                   |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 安心して治療が受けれるよう普段からかかりつけ医と連携図り情報共有している                     |                                                                                                                                   |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる   | 入居時、家族へ状態変化に対し説明を行っている。状態に合わせて生活の場を法人で対応できるよう取り組みしている    | これまで看取りをした方はいないが、状態変化に合わせて対応できるように研修を行ったり、協力医への相談ができる体制が取られている。重度化の場合は、同法人の特別養護老人ホームや老人保健施設への住み替えについて入居時に家族に説明し、安心して過ごせるよう支援している。 |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                               | 内部研修で救急法や連絡体制を確認している。AED設置している                           |                                                                                                                                   |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                               | 年2回夜間想定避難訓練を実施している。災害時に備品も準備している                         | 火災や地震、水害に対する訓練を利用者も一緒に参加して実施している。特に住まいが2階であるため、避難の際は命を優先することを意識しながら行動している。備蓄は全職員が置き場所や量を把握し、緊急連絡網を整備し、有事に備えている。                   |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目                                                                               | 自己評価                                                                     | 外部評価                                                                                                        |                   |
|----------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                  |      |                                                                                  | 実践状況                                                                     | 実践状況                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |                                                                                  |                                                                          |                                                                                                             |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                | 入居者へのコミュニケーションは一人ひとりに合わせたトーンで尊厳を持った声掛けに努めている                             | 個人情報の取り扱いは年に1回研修で実施している。普段のケアでは、利用者一人ひとりに合わせた声掛けが徹底され、穏やかで指導の成果が表れている。                                      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日常生活の中で本人の希望を聞き出したり自己決定できる選択肢の支援を行っている                                   |                                                                                                             |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日々のスケジュール等は職員で決めた時間で行っていることが多い。その中でも日々の過ごし方は入居者様に合わせたペースで過ごして頂けるよう支援している |                                                                                                             |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 整容できる環境づくりをしている。床屋も月1回きていただき本人の希望に沿った対応をしている                             |                                                                                                             |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 夕食の準備や後片付けは入居者様と一緒にしている。季節が感じられる行事食で楽しめるように支援している                        | 新型コロナウイルスの影響により、食材の買い物は一緒にいけないが、野菜の皮むきや茶碗拭き、食後の片づけを一緒に行っている。食事から季節を感じてもらえるよう旬を取り入れ、行事食で楽しみを感じてもらえるよう工夫している。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事が偏らないように献立の工夫をしている。毎日、個々の摂取量・水分量を記録している                                |                                                                                                             |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎日、毎食後実施。介助必要な方は状態に応じたケアを行っている                                           |                                                                                                             |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                           | 自己評価                                            | 外部評価                                                                                             |                   |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                              | 実践状況                                            | 実践状況                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている                               | 本人の排泄状況を確認し一人ひとり排泄パターンに合わせ誘導や介助を実施している          | 日中におむつ使用をしない工夫を心掛け支援を行っている。不快がないよう、一人ひとりに合わせたパットの選定をおこなっている。見直しにはチェック表を活用し、ケア方法を検討しながら自立を支援している。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                               | 食物繊維や水分量に気を付け排泄チェック表を使用し職員間で情報共有し個々に合わせ対応している   |                                                                                                  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている                         | 入浴時間が午後限定されているが本人がゆっくり入れるよう個浴で対応している            | 時間は決まっているが無理な誘い方はせず、時間や曜日、対応する職員を代えて声掛けする等、ゆっくり楽しんでもらえるよう、個々の状況に応じた支援を行っている。                     |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                                | 夜間、安眠確保の為、日中の活動を増やしたり体調に合わせた支援をしている             |                                                                                                  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                           | 居宅管理指導あり。服薬については薬剤師と情報交換・連絡取りながら不明な事は薬剤師に相談している |                                                                                                  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                              | 一人ひとりに合わせた役割が出来るよう声掛けしている。意欲活性化図れるように支援しています    |                                                                                                  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ予防感染対策の為、外出出来ない                              | 新型コロナウイルスの影響により全くできない時期もあったが、現在は近所の散歩やゴミ出し、ドライブ等、感染状況に配慮しながら外出機会を作り支援している。                       |                   |



| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                               | 自己評価                                                         | 外部評価                                                                                                   |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                         | 実践状況                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 出納長にて管理している。金銭状況は家族にも毎月確認していただいている                           |                                                                                                        |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 本人の希望時にはスムーズに対応するよう支援している                                    |                                                                                                        |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 温度・湿度管理に努めている。季節感を感じられる装飾を行っている。制作は入居者様と一緒に作成し装飾している         | エアコンで温度管理をしている。天井が高く広い空間で、窓も大きいことから十分な採光があるため明るい印象である。壁には季節にあった手作りの装飾があり、家庭的な雰囲気が感じられる。                |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | リビングではくつろげるよう空間を確保したりコミュニケーション図れるよう工夫している                    |                                                                                                        |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 自分の居室であると感じられるように自宅から物品を持ち込んでいただくように働きかけている。本人にあった空間作りに努めている | 入居時には使い慣れた家具や本人の大切にしていた物の持参を説明している。実際に位牌やソファなどを持参し、設置されている。空間の配置だけでなく、一緒に掃除を行うことで心地よさに働きかける取り組みも行っている。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                            | 居室やトイレ・浴室はわかりやすいように絵や文字等目印の工夫をしている                           |                                                                                                        |                   |